

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 ママライフエキスポ

団体名 ママライフデザイン研究所

項目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	○4月～インターネットを活用し（HP、Blog、FB、instagram）をほぼ毎日更新し若い世代に向け発信。 ○パンフレット制作段階より地域の方から協力いただき、8月～市内各所に8,000部配布。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	○	○出展された店舗、企業、個人の方は市内外の方への認知度が高まる機会となった。 ○来場の方へはアンケートでの協賛品プレゼントや無料参加WS、情報取得できることで利益増進となった。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	○	○地元の企業、店舗様より協賛や出展にて応援していただきました。 ○ボランティアには13名の方にご協力いただけました。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	○	○事業計画通りに進めていくことができたが予算については協賛金のおかげでボランティアさんへの謝礼をお渡しすることができた。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	△	○メンバーの環境の変化により殆ど協力の得られない状態となり一部のメンバーへの負担が増大。ボランティアさんによる多大なる協力で実施できた。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	○	ママライフエキスポがきっかけで、これまでマルシェ出店等をされたことがない出展された店舗さんがエキスポを機に種々なマルシェに出展や自主開催されるようになった。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	○	事業を継続してきた事でこれまでお世話になったシルバーさんや託児グループさんとも円滑に進めることができました。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	○	ママのネットワークやSNSの活用により近郊のみならず遠方からも来場いただけるイベントとしておよそ48%の方が北名古屋市外より来場。チラシと会場装飾の統一された魅せ方が支持されて1,300名の来場につながった。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	△	これまで運営を共にしてきたメンバーが3名脱退。運営にはボランティアさんの協力で2018年度はなんとか開催できたが新メンバーを4月よりボランティアをしてくださった方2名加入いただいたが準備不足のため来年度継続を断念した。
	・自己資金の確保に努めていますか	○	協賛頂けるようにパンフレット配布期間を早めに前倒しし広告協賛や出展にて協力頂ける企業さんに営業をしていった。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	○	○イベントの装飾は既製の物を使用せず、廃材や代用品で利用。消耗品となるペンなどは昨年度の補助金で購入したものを継続使用し削減に努めた。

	<p>・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか</p>	<p>△</p>	<p>イベントの周知は高まったものの（地域活性シティープロモーション）マルシェ目的の方が67%、“地域のつながり”や“子育て”という目的で来場された方は4%であった。ニーズと提供している内容にズレがあるのかもしれないので、コンセプトを再度考え直していく必要がある。</p>
--	--------------------------------	----------	--

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない